

断層型地震の被害想定に係る修正内容一覧

想定結果編（市町村別の被害想定等についても関連ページを修正しています。）

【山崎断層帯主部の地震】

ページ	修正内容	正（修正後）	誤（修正前）
2-5 等	災害関連死者数	<u>38</u> （最大値） ＜表の差し替え＞	<u>41</u> （最大値）
2-6 等	避難者数	<u>9,599</u> （最大値） ＜表の差し替え＞	<u>10,367</u> （最大値）
2-6 等	1ヶ月後における上水道の断水人口	<u>27</u> ＜表の差し替え＞	<u>0</u>
2-6 等	被災直後における下水道の支障人口	<u>245,861</u> ＜表の差し替え＞	<u>245,851</u>

【那岐山断層帯の地震】

ページ	修正内容	正（修正後）	誤（修正前）
2-7 等	市町村の最大震度の表現	鏡野町の一部で震度6強、津山市・鏡野町・奈義町等で震度6弱の揺れに見舞われる。	鏡野町・奈義町・津山市で震度6強の強い揺れに見舞われる。
2-9 等	被災直後における下水道の支障率及び支障人口	支障率 4.5 支障人口 <u>57,753</u> ＜表の差し替え＞	支障率 <u>4.4</u> 支障人口 <u>57,195</u>
4-1	震度6強の面積	鏡野町の一部で震度6強が見られ、その面積は約 <u>0.1</u> km ² である。	一部で震度6強が見られ、その面積は約 <u>5</u> km ² である。
4-37	災害シナリオ	（発災直後） 鏡野町・奈義町を中心に病床が不足する可能性がある。	（発災直後） 津山市、鏡野町を中心に病床が不足する可能性がある。

【中央構造線断層帯の地震】

ページ	修正内容	正（修正後）	誤（修正前）
2-10 等	市町村の最大震度の表現	倉敷市・笠岡市・岡山市・ <u>玉野市</u> で震度6弱の揺れに見舞われる。	倉敷市・岡山市・笠岡市で震度6弱の揺れに見舞われる。
2-11	表2.3.3(a)備考	倉敷市で <u>225</u> 棟の焼失	倉敷市、 <u>岡山市</u> で各 <u>12</u> 棟の焼失
2-12 等	被災直後における下水道の支障人口	<u>413,563</u> ＜表の差し替え＞	<u>413,023</u>
2-12 等	被災直後における停電軒数	<u>349,728</u> ＜表の差し替え＞	<u>349,686</u>
2-12 等	被災直後・1日後における通信の不通率及び不通回線数	被災直後 1日後 不通率 28.0 <u>0.2</u> 不通回線数 <u>52,062</u> <u>319</u> ＜表の差し替え＞	被災直後 1日後 不通率 28.0 <u>0.1</u> 不通回線数 <u>52,074</u> <u>116</u>
5-1	震度6弱の面積	瀬戸内沿岸域で震度6弱がみられ、その面積は約 <u>73</u> km ² である。	瀬戸内沿岸域で震度6弱がみられ、その面積は約 <u>38</u> km ² である。
5-38	災害シナリオ（医療）	（発災直後） 倉敷市等で入院需要は増 <u>す</u> ものの、	（発災直後） 倉敷市等で入院需要は増 <u>し</u> 、 <u>笠岡市</u> で若干の不足が生じる <u>可能性があるもの</u> の、

ページ	修正内容	正（修正後）	誤（修正前）
概要版 15 (※)	停電軒数	<u>350,279</u>	<u>350,276</u>

※被害想定（概要版）のみ修正

【長者ヶ原－芳井断層の地震】

ページ	修正内容	正（修正後）	誤（修正前）
2-15 等	被災直後における下水道の支障率及び支障人口	支障率 <u>22.0</u> 支障人口 <u>285,069</u> ＜表の差し替え＞	支障率 <u>21.9</u> 支障人口 <u>284,075</u>
2-15 等	被災直後における停電軒数	<u>260,134</u> ＜表の差し替え＞	<u>260,127</u>
2-15 等	被災直後における不通回線数	<u>36,105</u> ＜表の差し替え＞	<u>36,104</u>
6-1	震度 6 強の面積	笠岡市の一部で震度 6 強が見られ、その面積は約 <u>0.5km²</u> である。	一部で震度 6 強が見られ、その面積は約 <u>6km²</u> である。
6-31 等	医療対応力不足数	（倉敷市） 要転院患者数 <u>47</u> 入院需要 <u>72</u> 受け入れ可能病床数 <u>1,441</u> 医療対応力不足数 <u>1,369</u> （合計） 要転院患者数 <u>80</u> 入院需要 <u>122</u> 受け入れ可能病床数 <u>5,007</u> 医療対応力不足数 <u>4,885</u> ＜表の差し替え＞	（倉敷市） 要転院患者数 <u>55</u> 入院需要 <u>79</u> 受け入れ可能病床数 <u>1,435</u> 医療対応力不足数 <u>1,356</u> （合計） 要転院患者数 <u>88</u> 入院需要 <u>129</u> 受け入れ可能病床数 <u>5,001</u> 医療対応力不足数 <u>4,872</u>
6-38	災害シナリオ（火災）	（発災直後） その後消防組織も加わり消火活動を実施し、大規模延焼には至らない。 （12 時間後～3 日） 救助活動終了。 （4 日～7 日） 空欄	（発災直後） その後消防組織も加わり消火活動を実施するが、倉敷市では延焼が広がる。 （12 時間後～3 日） 概ね消火活動は終了する。通電火災への対応。 （4 日～7 日） 救助活動終了。
6-38	災害シナリオ（医療）	（発災直後） 倉敷市・笠岡市等で入院需要は増すものの、	（発災直後） 倉敷市等で入院需要は増し、笠岡市で若干の不足が生じる可能性があるものの、

【倉吉南方の推定断層の地震】

ページ	修正内容	正（修正後）	誤（修正前）
2-18 等	被災直後における下水道の支障人口	<u>2,081</u> ＜表の差し替え＞	<u>2,078</u>
7-1	震度 6 弱の面積	<u>真庭市</u> の一部で震度 6 弱が見られ、その面積は約 <u>18</u> km ² である。	一部で震度 6 強が見られ、その面積は約 <u>29</u> km ² である。
7-32	災害シナリオ（上水道）	（発災直後） 発災直後は約 <u>900</u> 人（断水率 0.1%）が断水の影響を受ける。 （12 時間後～3 日） 1 日後で断水人口は約 <u>900</u> 人（断水率 0.1%）となる。 （4 日～7 日） <u>真庭市</u>の一部で断水が続き、配水幹線付近で仮設給水栓設置。 <u>1 週間で応急復旧を完了する。</u> （8 日～14 日） 空欄 （15 日～1 ケ月） 空欄	（発災直後） 発災直後は約 <u>1,000</u> 人（断水率 0.1%）が断水の影響を受ける。 （12 時間後～3 日） 1 日後で断水人口は約 <u>1,000</u> 人（断水率 0.1%）となる。 （4 日～7 日） <u>真庭市</u>の一部で断水が続き、配水幹線付近で仮設給水栓設置。 （8 日～14 日） <u>真庭市</u>の一部で断水が続き。 （15 日～1 ケ月） <u>応急復旧を完了する。</u>

【大立・田代峠－布江断層の地震】

ページ	修正内容	正（修正後）	誤（修正前）
2-21 等	被災直後における下水道の支障人口	<u>5,617</u> ＜表の差し替え＞	<u>5,614</u>
8-1	震度 6 強の面積	<u>真庭市</u> の一部で震度 6 強が見られ、その面積は約 <u>0.9</u> km ² である。	一部で震度 6 強が見られ、その面積は約 <u>41</u> km ² である。
8-35	災害シナリオ（医療）	<u>真庭市等で入院需要が増すものの、受け入れ可能。</u>	<u>鏡野町で病床が不足する可能性があるが、県内の他市町村で受け入れ可能。</u>
概要版 18 (※)	停電軒数	<u>11,962</u>	<u>11,961</u>

※被害想定（概要版）のみ修正

【鳥取県西部地震】

ページ	修正内容	正（修正後）	誤（修正前）
2-24 等	被災直後における下水道の支障率及び支障人口	支障率 <u>1.0</u> 支障人口 <u>12,403</u> ＜表の差し替え＞	支障率 <u>0.9</u> 支障人口 <u>12,244</u>
2-24 等	被災直後における停電軒数	<u>21,043</u> ＜表の差し替え＞	<u>21,042</u>
9-1	震度 6 強の面積	真庭市と新見市の一部で震度 6 強が見られ、その面積は約 <u>3km²</u> である。	わずかに震度 6 強が見られ、 <u>震度 6 弱</u> の面積は約 <u>103km²</u> である。
9-35	災害シナリオ（下水道）	（発災直後） 直後は約 12,000 人（支障率 <u>1.0%</u> ）が機能支障の影響を受ける。 （12 時間後～3 日） <u>新見市・真庭市の一部を除き、</u> ほぼ利用可能となる。	（発災直後） 直後は約 12,000 人（支障率 <u>0.9%</u> ）が機能支障の影響を受ける。 （12 時間後～3 日） <u>新庄村の一部を除き、</u> ほぼ利用可能となる。

その他、一部表現を修正しています。